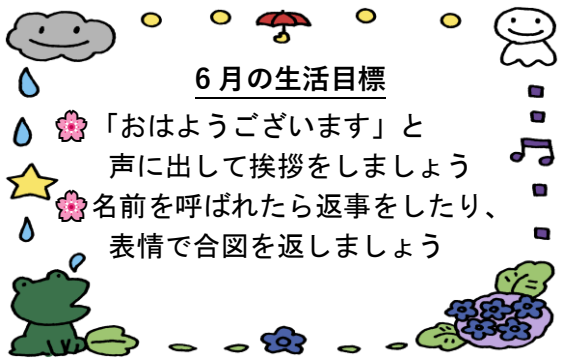


永原学園地域子育て支援センター  
**さんこう・ぽぽら**  
 令和4年6月発行・第182号  
 認定こども園西九州大学附属 三光保育園  
 TEL:0952-31-6877

6月の生活目標



「おはようございます」と  
 声に出して挨拶をしましょう  
 名前を呼ばれたら返事をしたり、  
 表情で合図を返しましょう

「シニアサロンぽぽら」について

子育て支援センター「さんこうぽぽら」では、月に1回地域のシニアの方におこし頂き楽しいひと時を過ごしています。

日時：6月10日(金)：防災センター見学

7月7日(木)：七夕製作など

場合によっては中止になる可能性があります。

みんなの夢

5月5日こどもの日の佐賀新聞に、小学校6年生に聞いたみんなの夢ランキングが掲載されていました。1位は、サッカー選手、2位は野球選手、3位はナント！幼稚園教諭・保育士でした。保育者不足の現場にとって、とても夢のある嬉しい結果でした。本園の年長児が卒園する際に聞いた、「大きくなったら何になりたい？」では、ケーキ屋さんがダントツで、次にサッカー選手が続きました。

何となく、子どもが憧れるのが理解できるような気がします。佐賀には、サガン鳥栖というチームがあり、休日親子で観戦に行く子どもや職員も大勢います。そして、ケーキ屋さん。美味しそうなケーキは、しばし食べる人に至福の時間を与えてくれます。大人も子どもも幸せそうな笑顔でいっぱいですね(^)。

そして、第4位は看護師さん。今も昔も不動の憧れの職業です。第5位になったのが、「優しい人」！正直驚きました。心理学の先生にその背景を聞いてみたいと思います。本園の卒園児のなりたいたいものの中にも、「やさしい●●」と、職業の前に形容詞を付けて表現する子ども達がいまいた。憧れは、やさしい、つよい、かっこいい、おいしい、かわいい等々のイメージがあるようです。

先月、親子遠足の中で見た、広い芝生の上でお父さんのキックするボールを一生懸命返す子どもの姿を想像して、身近な大人の優しさやカッコよさが子どもの職業にも、多少なり影響もあるように感じました。休日、親子で楽しいひと時を過ごしてください。

(三光保育園園長)



シニアサロン：「アロマバーづくり」



環境講座：アロマ



じゃがいも掘り

6月・7月の「子育て支援事業」のお知らせ

- ・6月6日(月)…赤ちゃんの日(1歳未満)
- ・6月7日(火)・8日(水)…1歳児の日
- ・6月9日(木)…2.3歳の日
- ・6月15日(水)…リフレッシュ講座
- ・6月20日(月)・21日(火)23日(木)…フリーデー
- ・7月4日(月)…2.3歳の日
- ・7月5日(火)・8日(金)…1歳の日
- ・7月11日(月)…赤ちゃんの日(1歳未満)
- ・7月12日(火)・13日(水)・14日(木)…フリーデー
- ・7月19日(火)…育児講座

開催場所：三光幼稚園・保育園の運動場・支援センターぽぽら

※電話でお申し込みください。6月分は6/1から電話予約開始です。

7月分は7/1から受け付けます。先着10人です。

※時間はいずれも10時～11時までです。

※赤ちゃんの日は兄弟児の参加はご遠慮下さい。(1歳・2.3歳の日は、参加できます)

※ぽぽらの支援活動は、状況により、計画の変更や中止の場合があります。ご利用いただく前にHPをご覧ください。か、公式LINEアカウントを登録いただくと、大変便利です。どうぞ、ご利用ください。また、感染症対策にくれぐれもご協力ください。37.5度以上の熱や風邪の少々がある場合の参加はご遠慮下さい。

♪育児相談・食育相談をしています♪

三光保育園及び三光幼稚園では、育児・食育相談を受け付けています。お気軽にお申し込み下さい。

※毎月第3火曜日の14時～16時までは、西九大短大部教員による食育相談を行っています。

※事前にお電話でお申し込みの上、ご利用下さい。

### 子育て便り

#### 「子育てストレスについて」

西九州大学子ども学部心理カウンセリング学科 教授 太田秀樹

まずストレスという言葉から説明します。われわれは日常的にストレスという言葉を使い、自身の心身の疲労を表現します。このことを少し詳しく述べると、自分に向かってくる刺激を自分にとって負担や害を生じさせるものだと判断すると、この刺激はストレスとなり、それによって心、身体に何らかの興奮状態が生じる—これをストレス反応と呼びます—という一連の流れのことをストレスと言います。つまりストレスによって心、身体が普段とは異なる状態になる一連の流れがストレスのことなのです。したがって、「子育てストレス」とは、子育てを自分自身にとって負担のあるものだと捉えることが、心、身体に何らかの興奮状態（普段とは異なる状態）を生じさせることに繋がります。そう考えると、ストレスとなっている子育てをしない、という選択肢を選べば、このストレス反応から逃れることができる、と理屈では言うことができます（実際、育児放棄をしてしまう人はいますが）。

しかし、一般的に子育ては少なくとも親が行うことになっています。こんな書き方をすると「子育て」と私の中に心的距離が生まれるので、「子育て」を私に近づけてみたいと思います。子を持つと男親でも、子への愛、子育てへの愛が生まれます。母親であれば、もっと凄惨なものなのでしょう。でも、わが子でさえ親の思い通りにはならないし、様々なことで困らせてくれます。これが、ストレスになるのですが、残念ながらこのストレスは消し去れません。しかも基本的に子どもは親を困らす意図をもって行動していないのですから。

したがって、ストレス反応を軽減することを考えるしかない、と思います。人類学者ターナーは「コムニタス」という関係性を述べています。これは、自他の違いは尊重しつつ、「あの人が楽しんでいるなら、私も楽しんでいいのだ」「あいつがしんどいのだったら、私もしんどいよ」と自然に思える関係性のことです。きっと、周りの人たちと「コムニタス」を作れるはずで、所謂「ママ友」です（「パパ友」、「子育て仲間」もそうでしょう）。ストレス理論では、こういう仲間をソーシャルサポートと呼びます。私たちは、何らかのソーシャルサポートなしでは、ストレス反応を軽減できません。もちろん仲間における自他の違い（それぞれの生き方の違い）は尊重しましょう。でないと、大人になっても思春期レベルの仲間外れが起きるからです。